

主な内容

第 45 回 雪と火のまつり	2
まちの話題	4
町民記者通信	5
地域おこし協力隊特集	7
図書のご案内	8
健康で元気な毎日!	8
民話(鶴のおんがえし 他)	9
町史編さん室だより	10
情報配信	11
町長日記	14

元気いっぱいの冬

三島っ子ならではの雪遊び



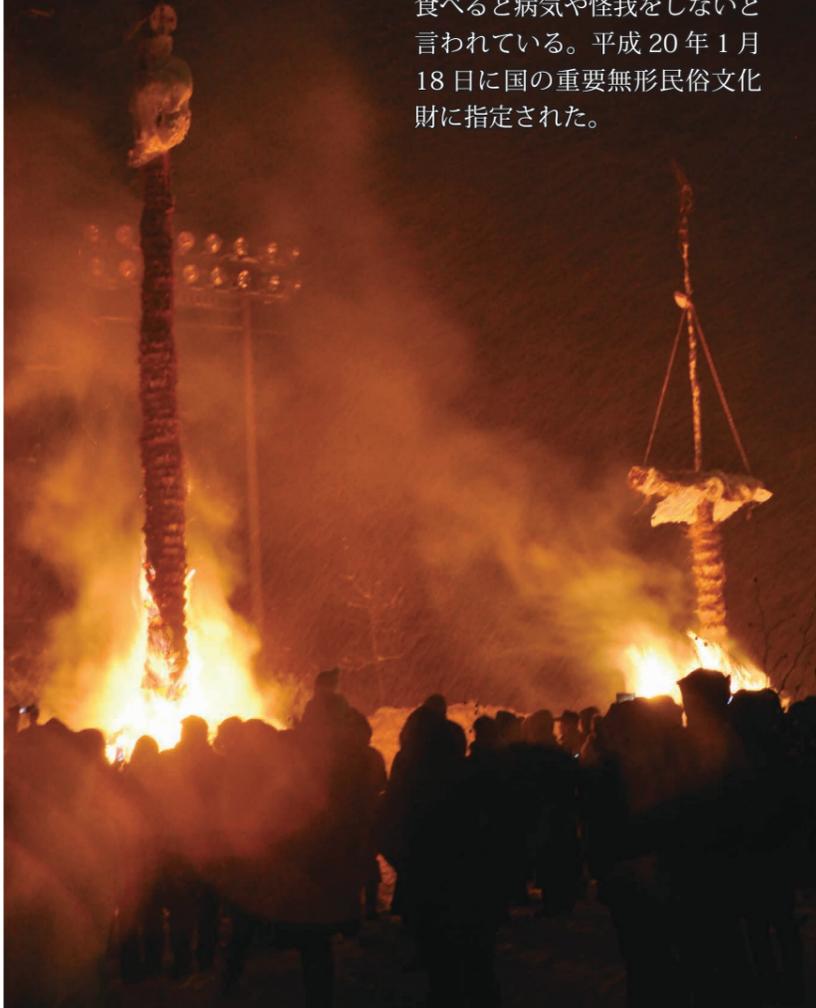
the most beautiful
villages
in japan

福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

サイノカミ

五穀豊穡や無病息災、厄落としなどを祈願して行われる小正月行事。サイノカミの燃える火にあたり、餅などを焼いて食べると病気や怪我をしないとされている。平成20年1月18日に国の重要無形民俗文化財に指定された。



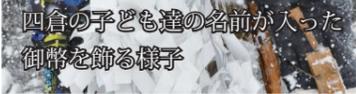
三島の冬を過ごす1日 第45回 雪と火のまつり

第45回雪と火のまつりは、2月11日に町民運動場で開催されました。メインイベントの国の重要無形民俗文化財に指定されている「三島のサイノカミ」の再現は、川井地区と滝谷地区の皆さんによる2本の巨大な「サイノカミ」に加えて、三島小児童・三島中生徒・四倉の子ども達で作った3本の「サイノカミ」、計5本が立ち並びました。

会場内では、温かく美味しい食べ物や振舞い酒など模擬店が並び、団子さしやみかんまき、雪上イベントなどが行われました。さらに、テレサ・テン来町40周年記念企画として、(財)テレサ・テン文教基金会の契約歌手である「KEI-I」さんによる、テレサ・テンのカバー曲のライブステージが披露され、会場は大いに盛り上がりました。



雪像造りに取り組んだ三島小児童



四倉の子ども達の名前が入った御幣を飾る様子



サイノカミ作りを体験



御幣に願いを込めて今年一年の抱負を書く三島中女子生徒



サイノカミ作りに取り組む川井地区の皆さん



団子さし

五穀豊穡や家内安全、商売繁盛などを祈願して行われる小正月行事。各家庭では、ミズキノキの若木に色とりどりの団子や小判・俵・鯛・恵比寿様などをかたどった「ふなせんべい」を飾る。



雪上フラッグ大会



テレサ・テンのカバー曲で会場を盛り上げたKEIさん



五穀豊穡を願い、田畑を害する鳥を追い払う行事。小正月に子ども達が鳥追い唄を歌いながら、害鳥に田畑を荒らされないよう予祝する。(平成29年現在は松原地区のみで行われている)

鳥追い



雪上網引き
会場を訪れたおたねくんも参加



採火式の様子



みかんまき

五穀豊穡や家内安全、商売繁盛などを祈願して行われる小正月行事。(雪と火のまつりでは、みかんにはクジがついており、運が良い人には豪華景品や奥会津ならではの景品が当たる。)



人権擁護運動をまもる君とあゆみちゃんが呼び掛けた



会場内の様子



「輪投げ・豆まき大会」行われる

文・写真 菅家壽一さん(間方)

2月4日、間方地区では、美女帰の里まがた活性化事業と老人クラブによる「輪投げ・豆まき大会」を行いました。冬期間は、家の中に閉じこもりがちで、地区住民どうしがふれあう機会が少ないこと。かつて節分には、子ども達が家々を回って賑やかに豆ひろいをしていたが、今は子どもが少なくなってしまうその風景が見られなくなってしまうことから、年寄りだけでも豆まきを楽しもうと行っているものです。

開会式、準備体操、そしてチーム編成をして、和気あいあいの中にも豪華賞品をかけた真剣勝負の輪投げ大会が行われました。輪投げ大会終了後、優勝チームが豆やお菓子をまき、参加者全員で賑やかに豆ひろいを行いました。その後、豆やお菓子を食べてお茶を飲みながら振り返り、「童心に帰って楽しかった。」「もっと沢山参加してほしい。」等意見が出されました。これは、ふれあひリフレッシュ事業として、町社会福祉協議会からの助成を受けて実施しているものです。



高清水地区に伝承されている「百万遍」

文・写真 菅家敏一さん(高清水)

今年も2月7日に大きな数珠を持って各家庭を回る「百万遍」を行いました。家の方々と一緒に「なんまいだ、なんまいだ」と念仏を唱えながら大きな数珠を時計回りで回します。

数珠を回しながら念仏を唱えることは、充実した日々を過ごせますようにと、鎮魂・追善・豊穰・除災等が込められているようです。この祈願を込めて各家の方々が一生懸命数珠を回されました。

小さな地区の行事ではありますが、いつまでも続きますようお願いいたします。



伝統行事を継承『子どもサイノカミ』

文・写真 佐々木邦雄さん(桧原)

2月12日、桧原地区の「子どもサイノカミ」が行われました。1月15日に実施された伝統行事「サイノカミ」から、約1ヵ月後の日曜日に実施しています。ご神木は、1月15日のサイノカミの木を再利用し、7メートルほどに短くして作り直しました。

少子化が加速する中ではありますが、参加される子ども達と地区役員が主体となり、毎年実施しています。

夜7時に、片山一雄区長と子ども代表の片山心路さんによりサイノカミに点火され、ご神木は勢いよく燃え上がりました。

その後、みかん撒きも行われ、餅を焼きながら御神酒を頂き、今年1年の無病息災を参加者全員で願い、伝統行事を楽しみました。



町

の地域資源を活用し魅力あるまちづくり

三島町生活工芸アカデミーモデル事業開講

2月1日、三島町生活工芸アカデミーモデル事業の開講式が行われました。

今回は、平成29年5月からの本格開講に向けた第2回目となる「雪降る冬のモデル事業」として4名の方が受講生となり、町内の空き家で共同生活しながら、編み組細工製作や工人さん巡り、座学、郷土料理体験、除雪の方法など、三島町の生活工芸に触れながら農村のライフスタイルを2週間体験しました。



悪

い鬼をやっつけろ!

三島保育所豆まき

2月2日、三島保育所で豆まきが行われました。幼児達は、手作りの鬼のお面をかぶり、泣き虫鬼やゲーム鬼などをやっつける!と意気込んでいました。無病息災を祈りながら歳の数ほど豆を食べると外から青鬼がやってきました。幼児達は青鬼に圧倒されながらも、豆をまき皆の力で倒し、今年1年の幸せを願いました。

福

島民報社よりオオヤマザクラを受贈

福島民報社 59 市町村応援プロジェクト

2月15日、福島民報社より県内市町村の地域づくりを後押しする「ふるさと大好き 59 市町村応援プロジェクト」の一環として三島町にオオヤマザクラが寄贈されました。

福島民報社の遠藤義範常務より矢澤町長が目録を受け取り、雪溶け後、受贈したオオヤマザクラを高年齢生活福祉センター敷地内に植える予定です。



新

間製作について学ぶ

福島民報社 59 市町村応援プロジェクト

2月15日、三島小5・6年生の児童たちは、福島民報社の59市町村応援プロジェクトの一環で、移動編集車「民報号」で三島小を訪れた福島民報社の記者の方から新聞製作について学びました。

児童たちは、取材・記事の執筆・レイアウト・印刷・配達の流れを理解し、新聞の役割や読み方を学び、民報号を見学。最後に、記者の方から児童たちの写真を掲載した号外を受け取りました。



地域おこし協力隊って町のどんな場面で活躍しているの？

平成28年度の地域おこし協力隊はどんな活動をしたの？

来年度はどんな活動を予定しているの？

地域おこし協力隊を知ってみませんか？

三島町地域おこし協力隊活動報告会

町では、三島町地域おこし協力隊について町民のみならず皆様へのご理解を深めていただきたく、活動報告会を行います。平成28年度の活動成果や次年度の活動目標など、各隊員がそれぞれの視点や業務から地域おこし協力隊としての活動内容を報告いたします。意見交換の場も設けておりますので、ぜひ参加いただき地域おこし協力隊への疑問・ご意見等を含め、ぜひ隊員とお話ください。

■3月15日（水）午後3時から5時まで ■三島町町民センター 視聴覚室にて

消防署からのお知らせ

毎年、寒い時期は暖房器具を使用していることと思いますが、ちょっとした気の緩みや不注意などにより多くの火災が発生しています。

今回は、暖房器具からの火災防止チェック表を記載いたしますのでご活用ください。

暖房器具の取り扱いには十分に注意しましょう！！

これだけ守れば火災は防げる！！

火事・救急・救助は119番まで
 会津坂下消防署三島出張所
 電話 52-3032
 FAX 52-3033

暖房器具からの火災防止チェック表	
項目	チェック欄
燃えやすいものの側で暖房器具を使用していませんか？	
暖房器具の側にスプレー缶等を置いていませんか？	
安全装置が付いている暖房器具を使用していますか？	
暖房器具の火を付けたまま寝ていませんか？	
部屋に誰も居ないときは暖房器具の火を必ず消していますか？	
洗濯物を暖房器具の上で乾かしていませんか？	
給油の際に灯油であることを確かめてから行っていますか？	
暖房器具の火が完全に消えてから給油していますか？	
暖房器具に点火したら炎の調整や確認を必ずしていますか？	
カートリッジ式燃料タンクに給油した後は必ず蓋が完全に閉まっているか確認していますか？	

平成29年春の全国火災予防運動

期間 3月1日(水)～7日(火)
 全国統一防火標語

『 消しましょう その火その時 その場所で 』

空気が乾燥して火災が発生しやすい季節になりました。今年も上記期間中、春の全国火災予防運動を実施します。火災予防運動は、住民の皆様に防火意識を一層高めていただき、火災予防を徹底することにより、尊い生命や貴重な財産の損失を防ぐことを目的としています。



カメラ 団子まき用米托鉢行われる

文・写真 本名与四郎さん(西方)

2月12日、西隆寺の遠藤住職と護持会の方々による「団子まき用米托鉢」が行われました。時折、吹雪となる中、地区内では、お米を手に持ち、道ばたで待っている姿が多く見られました。

例年、小学生も護持会の皆さんと一緒に托鉢の協力をしていましたが、今回はスキー研修に参加しているために、大人だけの托鉢となりました。

今回ご協力いただいたお米を使い、3月18日(土)に檀家の婦人会による団子まきが西隆寺で行われるということです。

春分の日である3月20日(月)の午前11時30分より西隆寺本堂において、「団子まき」が行われます。護持会会長の栗城卓夫さんは、地区内外を問わず多数の参加を待ち望んでいました。



カメラ 川井松音寺の涅槃会

文・写真 角田伊一さん(川井)

2月19日に川井松音寺でお釈迦様の団子まきが盛大に行われました。本来は、お釈迦様のお亡くなりになられた15日が涅槃会で、この日、お釈迦様の分身とされるお団子を拝領して、肌身離さず身につけると諸難をよけるとされ、檀家の老若男女こぞって団子拾いに寺参りをしたと伝えられておりますが、近來は参詣者の便宜を図って土日開催するようになりました。17日に川井・大登の主婦たちが白・赤・青色に染めた団子を丸め、3個づつ詰めた小袋を1,400袋あまり準備し、当日寺の本堂で住職・護持会の役員さんがまいてくださいました。今回は破天荒で参詣者が少なかったため、皆さん持ちきれないほど拾い集め大喜びでした。



カメラ 世界にひとつだけの？千代紙のコースターできたよ！ ～ふれあい事業子どもと高齢者の交流事業～

文・写真 小島純さん(宮下)

宮下地区と宮下分館では、2月19日に宮下活性化センターにおいて、例年行っている“ふれあい事業”～世界にひとつだけの？「千代紙のコースター」作り～を行いました。

小学生から中学生、地域住民約20名が参加し、近藤勇彦宮下分館長の指導のもと、千代紙のコースター作りをしました。終了後は、地区有志の方々が「すいとん」を提供し、参加者は出来上がったコースターをお互いに批評し合いながら、美味しく頂きました。



第72話

鶴のおんがえし

むかしむかあし、あつたそ
 じゃ。

あるごに、じいさんとばあ
 さん、仲良く機織りして暮らしてあ
 ったと。

「じいさんよ、糸たんにやぐな
 たよ。買って来てくんつえ」
 「おきた、そんなじやら等ど
 ながら糸買ってくんべえ」
 「ああ、そうしてくんつあ
 れやあ」

「じいさんな笠ど蓑売って、糸
 っぺえ買つてもどつてくる途中だ
 っけだよ、鶴が畏さかがつて、せ
 づながつていだよ。」

「あれあれ、もぞうせえごど、畏
 さかがつたのがあ、ああよし
 よし、はずしてやつからあばれん
 なよ」

「ほらほら、きーつとしてろ。
 いいがあ、こんじえさすけねえ
 ぞ。ほおら、跳ばれべえや」
 つうど、放してやつたど。鶴はう
 れしいだべえ、じいさんの頭の上

ウーラリウーラリ三べんまわつて
 いったど。じいさんも快くてな
 ら、家さもどつと、ばあさんにし
 べつたど。

さて、ある日のごとよ。晩かだ
 な、若い娘が来ただど。
 「今晩泊めてくんつえ」

あんまりめごい娘だごで、じ
 いさんもばあさんもうれしくてな
 あ。
 「いぐづ泊まってもいいぞあ」
 ったど、したら、

「じいさんとばあさんには子ども
 がないが、どうか私を娘にして
 ください」

なんつうだど。大喜びで裏の小
 屋で機織り教えだどよ。
 娘は、じつき覚えで毎日毎日機
 織りしては、じいさんばあさんど

ご助けでくつちやど。出来た布
 はじいさん売つて、糸買つて来て、
 じんぐりじんぐり良い暮らしにな
 ったそ。

ある時、娘は、
 「今日は、何時もどちがう良いも
 のを織るが、決して中をのぞか
 ねえでください」
 つつただ。

健診の勧め～シリーズ1～

皆さん健診は毎年受けていますか？
 平成20年から**特定健診(メタボ健診)**が始まり9
 年目を迎えるとしています。今回は**特定健診受診の
 メリット**についてお伝えします。

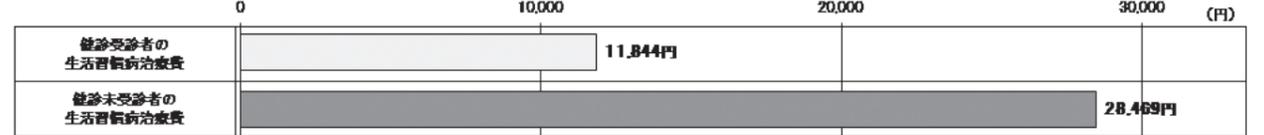
①特定健診では、心血管病(脳血管疾患、心疾患など)
 予防に重点をおいています。(※脳血管疾患とは、脳
 梗塞、くも膜下出血、脳出血をいい、心疾患とは、狭
 心症、心筋梗塞等をいいます。)

健診を受けることでこれらの原因となる「動脈硬化
 になりやすいかどうか」がわかり対策を立てられます。
 健診を受けて病院を受診したり、食生活を変えること
 により三島町では心血管病に新たになる人の数が減つ
 ています。(※1)

②三島町で特定健診を定期的に受けている人と、そう
 でない人の医療費を比べると、受けていない人の医療
 費が高いことがわかっています。(※2)

(※2)

特定健診の受診有無と生活習慣病治療にかかっているお金(三島町国保月平均)



【健診を受け早めに生活改善すると・・・】

- ・病気による余分なお金を支払わなくて済むようになります。
- ・病気になる人が減ると1人ひとりの保険料の負担が減らせます。保険料が上がるのをおさえられます。

特定健診は各保険者が実施することになっております。各保険者からくるお便りに気を付けて必ず健診を受け、心
 血管病、生活習慣病を予防しましょう！

vol. 3 健康で元気な毎日!

町民課保健福祉係 ☎48-5565

(※1)

疾病の発生状況(三島町 国保)

心疾患	新規患者数	脳血管疾患	新規患者数
平成24年	10	平成24年	11
平成25年	13	平成25年	6
平成26年	3	平成26年	1
平成27年	4	平成27年	2



【次回はがん検診についてです。】

追記 「志津倉山」のこと

送り、別れを惜しんだそうだ。
 鶴でさえ人様に世話になった恩
 は忘れない。

元話 故・二瓶アツ子(西方)
 再話 五十嵐七重(西方)

昔、弘法大師様が諸国を廻られ
 たときに、志津倉山にも立ち寄ら
 れて、馬に乗って探索されたそう
 です。

その時の弘法大師様の言葉には
 「志津倉山は北向きなので、高野
 山居を定める」として「横雲山・高
 野山」を開山されたそうです。会
 津五高野のひとつだな。

その時の馬の(蹄)の跡が、今
 なお残っているそうです。
 場所は、雨乞い岩の上部です。

提供者 久保田 政信(間方)

もし、ご家庭に古い文書などがございましたら、交流センター山びこまでご一報ください。
☎(52) 2165

『三島町史』資料編「近世文書」の特色

庶民の生活を活写した貴重な史料集

これまで江戸時代の古文書を紹介してきましたが、その集大成となる新しい『三島町史』の第一冊目、資料編「近世文書」が発刊されます。三島町で現存が確認されている古文書の数は約三千五百点あり、本書は後世に伝え残したい厳選約六百点をすべて解説つきで所収します。いずれも庶民の生活を生々しく記録した貴重なものばかりです。今回はその特色について触れたいと思います。

江戸時代、名主家は幕藩から求められれば文書を即座に提示できるよう、何十年分も保管する義務がありました。そのため、歴史を知る上で重要な古文書は旧名主家に保存されていることが多くあります。しかし、こういった「名主文書」の大半は火災や一揆の暴動などが原因で失われてしまっています。町内でも桑原、大谷ほか数地区にしか「名主文書」は残っていません。

そのなかでも桑原・河越家には、領主・家臣・法度・法令・幕藩政・戊辰戦争・土地・人口・年貢・諸負担・産業・農業・金融・交通・一揆・訴訟・文化・社寺といった広範に及ぶ分野の記録が、二百数十年間分ほぼ散逸せずに保存されています。そのおかげで、近世初期から後期までの比較や検証が容易にできるため、県下でも貴重な古文書の一つとして知られています。

この河越家、そして大谷・二瓶家は組名主の総代を勤めた「触継名主」であり、「組文書」と呼ばれる、組内各村々の実態を書き上げた記録を数多く残しています。この二つの家に残された古文書を活用すれば、「名主文書」が散逸した村々の村勢を把握することも可能なため、今回の資料編には数多く所収しています。

また、旧滝谷組郷頭を勤めた滝谷・山ノ内家には、八代目の吉右衛門が著した『無枕雑補家玉記』、『雑補弁略銘記』などをはじめ多数の史料が保存されています。これらには名主文書だけでは明らかにできない南山御蔵入全域の事柄が記されており、併せて所収することで、その内容をより充実させています。

さらに、寛文六年『滝谷組風土記』、宝永七年『御上使品々覚書』、天明四年『飢餓実態並諸願控帳』、そのほか新発見の古文書も多数所収しており、三島町にとどまらず、会津地方の研究史にも寄与できる内容です。刊行の際にはあらためてお知らせいたします。是非お手にとって三島町の江戸時代に触れてみてください。

文 角田 伊一



平成29年2月18日、25日に講演「三島町の江戸時代を語り継ぐ」が交流センター山びこにおいて開催されました。当町の江戸時代はどのような村であったか、解説された近世の古文書を資料に、角田伊一氏（三島町文化財保護審議会会長）、菅家博昭氏（昭和村文化財保護審議会委員長）のお二人に語っていただきました。

県立宮下病院より

◆診療日記

病棟看護師のつぶやき 「隠れ脱水!?!」



県立宮下病院看護技師
藤田 雅道

冬になると空気が乾燥してきますね。夏におこりやすいといわれる脱水症状ですが、実は冬にも危険が潜んでいます。冬は寒いのでトイレが近くなったりするのが嫌で、水分をとるのを避けがちになりませんか？そうでなくても夏の暑い日と違い、のどの渇きに鈍感になります。脱水症状がおこる条件がそろっているにもかかわらず、水分摂取の機会も少なくなると、高まっていくのです。

出てきます。のどの渇きはもちろん、熱が出たり、虚脱感があったり、足をつったり、気分が悪くなったりします。血液が濃くなってドロドロ血になり、血管が詰まる疾患になるリスクが高まります。鼻やのどの粘膜が乾燥すると、そこでキャッチするはずのウイルスが体の中に入りやすくなります。

脱水症 予防



福岡県立宮下病院
☎0241(52)2321

「在宅療養生活支援外来」 の愛称を募集します

宮下病院では、4月から毎週木曜日に無料で「在宅療養生活支援外来」を開始いたします。

- 「在宅療養生活支援外来」では、
- ①病気や障がいを抱えて家で生活する方や家族からの相談
 - ②地域に住む方々の健康維持・増進、介護・疾病予防のための支援
 - ③地域に住む方々が気軽に立ち寄れる交流場所の提供
- などを目的に、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリスタッフ等が皆様の在宅生活のためのお手伝いをさせていただきます。

今後、この「在宅療養生活支援外来」をより多くの皆様にご利用いただくために、親しみやすい愛称を募集しますので是非ご応募をお待ちしております。

応募方法

〈応募資格〉
柳津町・三島町・金山町・昭和村に居住している方（年齢は問いません）

〈応募方法〉

次のいずれかでご応募ください。
(1) 宮下病院内に設置された用紙に記入し、応募箱に投函
(2) ハガキでの応募

◆記載内容

- ハガキ裏面に①愛称、②愛称の説明、③ご氏名、④ご住所、⑤電話番号を記入
- 【参考：応募作品例】
(愛称) おたっしや外来
(愛称の説明) 利用した方が元気で楽しくなるような外来

◆宛先

〒969-7511
大沼郡三島町大字宮下水尻 1150
宮下病院内「愛称募集」係

〈応募締切〉

平成29年3月24日（当日消印有効）
〈特典〉
愛称が採用された方には当院長より記念品を差し上げます。

〈個人情報利用について〉

皆様からご提供いただいた個人情報については、本事業以外の目的では利用しません。

自衛官採用試験のご案内

募集項目	資格	受付期間	試験期日
予備自衛官補	一般	① 4月8日まで ② 9月16日まで	① 4月15日～19日 ② 9月30日～10月3日 いずれか1日を指定されます。
	技能		
幹部候補生	大卒で26歳未満の者(見込み含む)大学院修士課程修了者で28歳未満の者(見込み含む)	3月1日～ 5月6日まで	【1次試験】 5月14日・15日 【2次試験】 6月14日～17日 【3次試験】 7月予定

詳しくは、左記までお問合せください。

自衛隊 福島地方協力本部 会津若松出張所 会津若松市門田町大字黒石字大坪57-1
☎0242-27-6724

国家公務員採用試験のお知らせ

人事院では、次のとおり国家公務員採用試験を実施いたします。

試験名	申込受付期間	第1次試験日
総合職試験 (院卒者試験・大卒程度試験)	【インターネット】 3月31日(金)9:00 ～4月10日(月) [受信有効]	4月30日(日)
一般職試験 (大卒程度試験)	【インターネット】 4月7日(金)9:00 ～4月19日(木) [受信有効]	6月18日(日)
一般職試験 (高卒者試験)	【インターネット】 6月19日(月)9:00 ～6月28日(水) [受信有効]	9月3日(日)

なお、申込方法や受験資格等の詳しい内容については、人事院ホームページ又は左記にお問合せ下さい。

人事院東北事務局 第二課 試験係
☎022-221-2022
人事院ホームページ
[http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html]

国家公務員「国税専門官採用試験」(大学卒業程度)のお知らせ

仙台国税局では、バイタリティーあふれる税務職員を募集しています。国税専門官は、国の財政を支える重要な仕事を担い、税務署等において、調査・徴収・検査や指導などを行う税務のスペシャリストです。

○受験資格

1. 昭和62年4月2日から平成8年4月1日生まれの者
2. 平成8年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの
 - (1) 大学を卒業した者及び平成30年3月までに大学を卒業する見込みの者
 - (2) 人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

○受験申込受付期間

平成29年3月31日(金)から
4月12日(水)まで

○受験申込方法

受験申込みはインターネット申込みとする。国家公務員試験採用情報ZAV([http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm])なお、インターネットで申し込みない場合は、受験申込受付期間前に仙台国税局人事課第二課試験研修係へ連絡する。

○第1次試験日 平成29年6月11日(日)

問 仙台国税局人事第二課試験研修係

☎022-263-1111
(内線)3236

会津坂下警察署からののお知らせ

三島町での刑法犯(平成29年中)

1件

なりすまし詐欺にご注意!

▽『ギャンブル必勝情報提供等自説雑誌やホームページなどに「パチンコ攻略法」「競馬必勝法」などの広告を掲載したり、同内容の電話かけ、もともと存在しない必勝法の情報提供料名目で、現金をだまし取る手口です。

このほか、「ロト6」などの当選番号情報提供名目の詐欺も発生しており、ATMからの振り込みや、レターパックや宅配便により現金を送付しているのが特徴です。

▽警察官を名乗る不審電話発生

会津坂下町で不審電話が発生しました。手口は、警察官を名乗る男からの電話で、「詐欺防止活動中」などと言われ、個人情報を聞き出されるものです。

このような不審な電話がかかってきた時は、会津坂下警察署にすぐに相談してください。

町の人口と世帯(2月現在)

人口	1,711		出生	0
男	835	増減数	死亡	6
女	876		転入	2
世帯	784		転出	5

③住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

はじめまして赤ちゃん

- (名前) (地区) (保護者)
- 鈴木 莉央 (滝谷) 大平・利佳 (12月届出)
 - 小柴 芳太郎 (西方) 芳和・尚子

末永くお幸せに

- 高枝 佳男♡小竹 順子(早戸)

お悔み申し上げます

- 目黒 和広 (39才・滝谷)

※掲載を希望する方もされない方も、各種手続き時に配布いたします『広報みしま掲載同意書』に記載事項を記入していただきます。なお、詳細については役場総務課までお問合せください。

問 総務課総務係 ☎(48) 5511

インターネット被害防止

運動実施中

- スマートフォンを利用して
- あ 会わないで!(知らない人と)
- と 撮らないで!(自分の裸を)
- か 画像を送らないで!
- こ 個人情報を書き込まないで!
- わ 悪口を書き込まないで!
- い いじめないで!(ネットを使って)



街頭犯罪発生件数(平成29年1月31日)

区分	管内	三島町
空き巣ねらい		
忍び込み		
出店荒らし		
自動車盗		
自転車盗		
ひったくり	1	
街頭犯罪合計	1	0
全刑法犯	10	1

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。
※上記発生件数は、平成29年1月1日からの累計数となっております。

第2回 桐の里ウォーク2017 開催について

昨年、公民館主催の第1回記念大会「桐の里ウォーク2016」が開催され、町内外で総勢72名の方が参加。爽やかな秋の風を感じるウォーキングとなりました。

『第2回桐の里ウォーク2017』の開催は、風薫る5月。三島町の春の景色を堪能してみませんか?町内外問わずたくさんのご参加をお待ちしております。

日 5月13日(土) 9時30分スタート
※詳細は後日お知らせいたします。

問 公民館 ☎(48) 5599



▶第1回記念大会「桐の里ウォーク2016」の様子

三島小・中学校 校内スキー大会

全力疾走！自己ベスト！

三島小学校スキー大会の様子



全校生でお友達を応援！



滑走コースを確認！

三島中学校スキー大会の様子



中学生女子
クロスカントリー



中学生男子
アルペン

2月3日に三島小学校校内スキー大会が、2月9日に三島中学校校内スキー大会が町営桑原スキー場で行われました。三島小学校児童は、アルペンスキーを、三島中学校生徒は、アルペンスキーとクロカンに挑み、それぞれが自己ベストを目指し、練習の成果を發揮しました。

三島保育所 そりのり大会

みんなで滑って、転んで、遊ぶ冬



しっかりと準備体操中...



お父さん達もがんばりました！



みんなでそりのり競争！



雪上フラッグ！早いもの勝ちだ～！

2月16日に三島保育所のそりのり大会が町営桑原スキー場で行われました。幼児達と保護者は一緒にそりのりをし、お菓子拾いや雪上フラッグ、スキー場の斜面を利用したみかん拾い等が行われ、楽しい1日を過ごしていました。

町長日記

～平成29年度予算～

No. 20

第4次振興計画後期基本計画や地方創生計画に基づき、平成29年度の予算を編成したところであります。職員のみ英知を結集した予算案を組織の手順に基づいて予算査定を行い、私の責任において3月の定例議会に提案するものであります。予算案が町民の皆さんに寄り添う予算か、また、町外に開かれた予算か、常に自問自答し期待と不安が錯綜しています。しかし、内的・外的な時代の潮流を考える時、総合的且つ戦略的な予算案でないかと考えています。

その様に考える根拠は2点あります。1点目は、「スピード」から「スロー」、「グローバル」から「ローカル」、「成長志向」から「成熟志向」が、「時代」の潮流のような気がする事です。2点目は、「安全・安心」や「健康」「環境」「再生」というキーワードで時代が動いていることです。そのような理念で事業を編成したところです。多様性と多重性の時代であります。世界や日本からの発想でなく、地域からの発想を原点として温故知新や不易流行の精神を生かして行くことが、地域創生の本質であり、雪国の生活文化という歴史の継続性の中に生きる我々の責務であります。

平成29年度予算では、最重要事業に掲げる地域の資源を活用した生活工芸村構想の実現や早戸温泉湯治棟の建設、遊休農地の再生や桐の振興策を積極的に展開して行きます。また、子育て支援対策として、保育料の第3子の無料化、及び町営バスの無料化の継続、学校給食施設の整備、紙おむつ支給事業等々の実現を図り、単身用住宅の整備を含めた総合的な若者定住対策に取り組んでまいります。

町民の皆さんに寄り添い、また、議員の皆さんと議論を通して拓かれた山村三島の文化を創って行くことが、次の世代に継承する、今を生きる我々の責任であると考えます。

三島町長 矢澤 源成